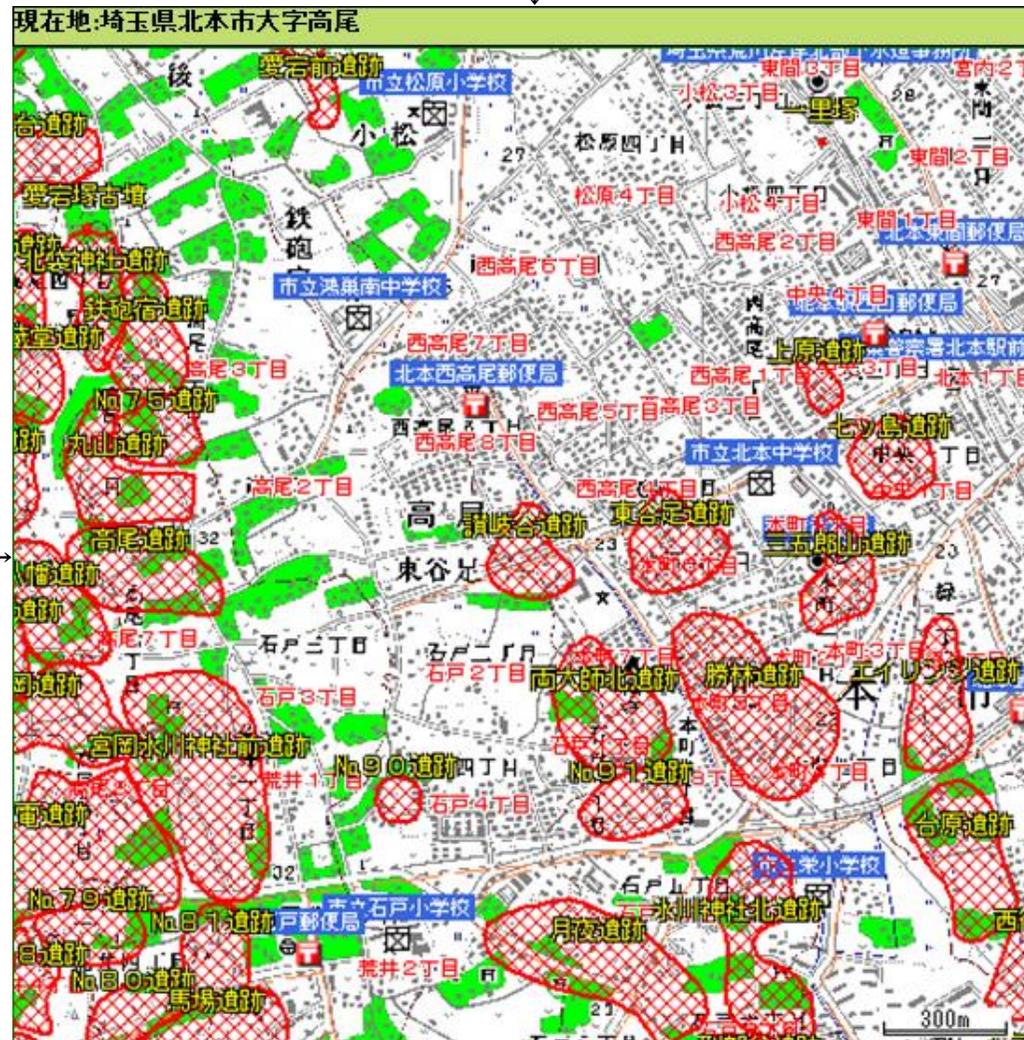


讚岐谷遺跡 (さぬきやいせき) (北本市)



インターネットより



インターネットより

遺跡番号	1600-029-000
遺跡名	讃岐谷遺跡
よみがな	さぬきやいせき
所在地	北本市高尾8丁目、下石戸上
種別	集落跡
時代	縄文 縄文前期 縄文中期 古墳 古墳前期
立地	畑
遺構概要	
遺物概要	諸磯C式、下小野式、勝坂式、加曾利E式、五領式土器

インターネットより

↓ 道路を挟んで両側



↑





この道路を挟んで両側に讃岐谷遺跡が広がる(現在は新興住宅地となっている)





道路反対側





讚岐谷遺跡

奈良～平安時代

埼玉県北本市所在

讚岐谷遺跡は、荒川の支流である江川流域に位置する。調査範囲が狭かったため不明な点が多いが、竪穴住居跡から、鉄鉢形土器、墨書土器、灯明皿、須恵器の蓋を転用した硯、漆容器として使用された長頸壺、水瓶などが出土した。

また、下流左岸に立地する榎戸遺跡からは「奉入寺」の墨書土器が出土していることから、周辺に仏教施設が存在する可能性が想定されている。 「埼玉の古代寺院」より

近くの桶川市川田谷生涯学習センター内の歴史民俗資料館に立ち寄った









<展示室に飾られている遺跡の場所>

